



ウクライナにおける戦争終結を願う祈りの時間

ノートルダム清心中・高等学校（広島）

広島教区長の白浜満司教さまから、ロザリオの月である10月を「一日も早いウクライナにおける戦争の終結を願う祈りの月間」として、可能な方法で祈りと犠牲をささげる呼びかけとお願いがありました。

そこで、広島教区に属するカトリック学校の本校でも、宗教の授業や終礼等で平和を願う祈りを唱えるだけでなく、全校一斉でお祈りの時間を持つことにしました。後期がはじまる10月24日の朝、ウクライナにおける戦争の終結を願い、全校で心を合わせて一緒にお祈りしました。





戦争の終結を願う祈り

～教皇聖ヨハネ・パウロ2世の祈りから～

偉大なるいつくしみ深い神、
平和といのちの主よ、
あなたは苦しみではなく、平和のための計画をお持ちです。
あなたは戦争を非難し、暴力に訴える者の思い上がりをくじきます。



あなたは、近くにいる者にも、遠くにいる者にも
平和がもたらされるように、
また、すべての人種、国家が一つの家族となるように、
イエスをお遣わしになりました。
被造界のすべての生き物を脅かす戦争、暴力と死の連鎖を
わたしたちは望みません。
神よ、この全人類の心からの叫びを聞いてください。



※今、ウクライナで起こっている戦争を、一日も早く終結させてください。

神の母マリアとの一致のうちに、今一度、あなたにお願いします。
人類の運命のかぎを握る人々が、
復讐や報復の論理を用いないよう働きかけてください。

※この地上で、二度と核兵器が使用されないよう助けてください。

聖霊を遣わし、対話と忍耐、寛容と高潔さを通して、
問題解決への新しい道を見出すことができますように。
それは、性急に戦争に向かうより、
はるかに多くの、平和への実りをもたらすからです。



(日本カトリック正義と平和協議会編『戦後60年 平和の祈り』2頁より)

※広島教区用に、新たに加えた部分です。